

異常な行動

識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就寝 中じゃない:×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場合、 就寝時刻から発 現までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠驚愕症 等の既往	睡眠驚愕症 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作用 歴	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたよと云っているのか?)	旧資料No		
77	B03005859	9	年	男性	①意識レベルの低下 ②無感情 ③異常行動	2003/3/14 2003/3/15 2003/3/16	1日2回 1日2回 1日1回	2003/3/16	—	—	No	No	発熱中から 解熱後も持 続	—	No	—	No	No	2003/3/10 微熱、咳嗽、頭痛あり、A病院受診。上気道炎と診断され、フロモック、ダーゼンを処方された。 2003/3/14 微熱持続し、同院再診。インフルエンザ迅速キットでは陰性。臨床的にインフルエンザと診断し、タミフル150mg及びフルタゾール処方。 2003/3/16 返答しない、活動性低下などの変化を認めた。タミフルはこの頃服用中止。 2003/3/17 同院再診。ソルデム1点滴中、突然意味不明の発言や行動が見られた。 2003/3/18 同様の症状あり。他院紹介となる。小児科入院の上、頭部CT、髄液検査、脳波施行するも明らかな異常認めず。上気道炎に対する治療のみを行い経過観察としたが、同日も異常行動あり、活気乏しかった。 2003/3/20 徐々に活気改善。異常行動も認めず。 2003/3/21 退院。 2003/3/25 外来受診時特に異常なし。	異-1-15		
78	B05000151	9	年	男性	①幻覚 ②不穏	2005/3/7 2005/3/7	11:00 21:00	2005/3/7	23:00	—	No	—	3.5時間	Yes	解熱過程	—	—	—	Yes	2005/3/6 インフルエンザB型感染発症。 2005/3/7 インフルエンザB型と診断。(11:00)タミフル服用。(21:00)タミフル服用。(23:00)「おかしい」「ふとんをかぶると肌がムニムニする」歩き回り、パニック状態となる。「砂がみえる」「窓に老人がみえる」 2005/03/08(2:30)自宅から他院へ救急車にて搬送。受診時は意識清明。体温38.6°C。本剤投与中止。(3:00)回復。当院小児科外来再受診。37.8°C。意識清明。理学所見上の異常は認めない。本日より薬剤内服すべて中止。 2005/3/11 わずかの無症状のみで略治療。	異-1-23	
79	B05021185	9	年	女性	譫妄	2005/12/15	18:00	2005/12/15	20:30、23:00	○	Yes	—	30分	Yes	解熱過程	No	No	No	—	No	(20:30)覚醒し、意味不明なことを話し始め、部屋の中を走り回り出した(その時のことは本人は覚えていない)。発熱なし。せん妄状態持続時間:15~30分母親が抱きかかえると回復。(23:00)落ち着き入眠するが、再度訳のわからない言葉が発現し、再度母親が抱きかかえると回復。せん妄状態持続時間:15~30分	異-1-37
80	B05024835	9	年	男性	①譫妄 ②凝固第Ⅶ因子量減少	2006/02/06	12:15	2006/02/06	14:15 17:15 21:51 1:25 1:33 4:12 6:00 0:21	○ × ○ ○ ○ ○ ○	No	—	10分	Yes	発熱持続	No	—	—	No	熱性痙攣 2006/2/5 (夕方)発熱あり。 2006/2/6 (10:00頃)当科初診。インフルエンザA型と診断。熱性痙攣の既往有り、本剤を処方。(帰宅後12:15)タミフル50mg1回分を内服し、居間で寝た。 (14:15)突然起き上がり、ベットボルトをさしだしたら、一口口に、払いのけ、両手をさし上げ「こわいこわい」と言って騒ぎ出した。立ち上がり、走り出そうな感じがあり、大人4人で押さえつけた。せん妄発現。10分間で落ち着いていたが、その後当科再来。(15:00)再来時には意識清明となったが、念のため入院とした。以降、せん妄発現まで就寝せず。(17:15)話しかけても会話が成立しない。せん妄発現。(21:51)変な事を言う、視線が合わず会話が不成立、手足をばたばたさせる、尿失禁。せん妄発現。CT実施:異常なし。臨床検査値上、フィブリノゲン265、FDP1.9、D-ダイマー0.3、PIVKA-II 31mAU/μL、凝固系第Ⅶ因子99%、第Ⅶ因子65%↓、第Ⅹ因子92%第Ⅶ因子の減少を認めた。時刻は不明であるが、就寝。 2006/2/7 (1:25)急に座位になる、口をくちやくちやさせる。「うーん、うーん」と言い、目は開けているが視線を合わせない、立ったが足元からふらつく、ポータブルトイレで用をたし、「こわい、こわい」「はずかしい、はずかしい」と言う。せん妄発現。(1:33)左の口角をつり上げ開眼して「うーん、うーん」と言う。せん妄発現。(4:12)急に起き上がり、言葉が普通でない。ポータブルトイレにて便をする。せん妄発現。(正午過ぎ)体温37.0°C台となる。本剤中止し、シスダイン250mg×3回/日、ヒベンズ酸チベジシン20mg×3回/日へ変更し投与開始(~2/13)。MRI実施:異常なし。時刻は不明であるが、就寝。 2006/2/8 (0:21)排尿する時に2分くらい「ぼーっ」としていた。計7回せん妄発現したが、いずれも自然軽快した。 1回当たりの持続時間:2~10分間。体温36.0°C台。脳波検査実施:異常なし 2006/2/9 正午頃より、再び発熱し、39.4°Cまで上昇。 2006/2/10 完全に解熱。 2006/2/11 インフルエンザ回復。(11:00)せん妄回復し、退院。第Ⅶ因子の減少回復。トロンボ、ヘパブラチンともども回復していることより、一過性の減少と考えられる。	異-1-61	
81	B05024837	9	年	男性	幻覚	2006/2/4	①10:30 ②21:00	2006/2/4	①11:30 ②22:00	—	—	—	5-6分	Yes	発熱持続	No	No	No	—	Yes	2006/2/4 (9:30)発熱:38.8°C、頭痛、倦怠感を認める。インフルエンザA型と診断。(10:30)タミフル(49.5mg)服用し部屋で安静臥床させた後母親が買い物に外出。(11:30)患児が玄関から外出しているのを発見し、自宅内に連れ戻したが室内を奇声を発しながらグルグル回る。ガラス戸をたたく症状が10分間近くみられた。発熱、発汗症状もみられたので着替えて患児の兄が声をかけたら症状がスーッと消失し普通に居る。(21:00)タミフル2回目服用(49.5mg)。(22:00)「ウーウー」と奇声を発し起き上がろうとした。5分間位で症状は消失。 2006/2/6 インフルエンザ軽快・回復。	異-1-62
82	B05025584	9	年	女性	異常行動	2006/1/26	昼前	2006/1/26	4時間後	—	No	—	30分	—	発熱持続	—	No	No	No	No	2006/1/26 発熱、咳嗽を主訴に来院。インフルエンザA型と診断。タミフルドライシロップ1.8g×2回/日処方。昼前、本剤内服。(15:00頃)体温39.0°C。(約4時間後)部屋の中を急にウロウロ歩き回るといふ異常行動発現。その後、安静にて落ち着き就寝できた。同日再診し、溶連菌+を確認。本剤投与中止、水分補給、安静を指示した。 2006/1/27 (午前)異常行動回復。インフルエンザも回復。 2007/2/2 当院来院。39°Cの発熱、頭痛を訴える。(夜)インフルエンザ(+)の為、タミフル30mg×1/回投与。(深夜)入眠中の異常行動発現(非重篤)。起き上がろうとしたり、意味不明な話をしてくる。本人は覚えていない。その後、本剤は処方せず。他院(救急外来)受診。入院。リレンザ服用(特に問題なし)	異-1-72
83	B06025100	9	年	男性	異常行動	2007/2/2	夜	2007/2/2	夜中	○	—	—	8時間	No	発熱持続	—	No	No	No	No	2007/2/2 当院来院。39°Cの発熱、頭痛を訴える。(夜)インフルエンザ(+)の為、タミフル30mg×1/回投与。(深夜)入眠中の異常行動発現(非重篤)。起き上がろうとしたり、意味不明な話をしてくる。本人は覚えていない。その後、本剤は処方せず。他院(救急外来)受診。入院。リレンザ服用(特に問題なし)	異-1-104